

令和5年度 大分地方最低賃金審議会

特定最低賃金専門部会

〈電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業〉

1 日時 令和5年10月4日(水) 午後1時30分～

2 場所 大分労働局 4階会議室
(大分市東春日町17番20号)

3 出席委員(敬称略)

公益代表: 荒井 公美、河野 憲嗣、下田 憲雄

労働者代表: 藤本 雅史、松下 正芳、山田 功一

使用者代表: 石井 四郎、藤野 久信

4 事務局

大分労働局: 斉藤 労働基準部長、金田 賃金室長
田口 賃金室長補佐

5 議 題

- (1) 金額審議
- (2) その他

6 議事要旨

(1) 金額審議について

ア 事務局より資料の説明を行ったのち、協議を開始した。

イ 協議要旨

労側委員からは、

- ・地域最賃が大幅に上昇しており、特定最賃との額差が縮まっているが、昨年は地域最賃と同額の32円の引上げで大分県内の他の産別の中では一番高い金額となったこと

- ・このことは、県内の主要産業としての重要性を労使で共有できたことの表れだと認識しているということ
- ・本年度の審議においても、地域最賃との比率を確保しつつ他業種に対する優位性を維持する必要があること

などの説明があり、現在の地域最賃との比率や影響率及び他の産別への優位性を考慮する必要があるなどの説明があった。

使側委員からは、

- ・地域最賃が大幅に上昇し本年度初めて、地域最賃に埋没することとなり、特定最賃の優位性は望めない状況となっている
- ・ただし、昨今の物価上昇から労働者の生計費たる賃金を引上げる必要性は認める
- ・大分での春闘の賃金上昇率4%を参考とすべきであるなどの説明があった。

ウ 協議結果

公益委員より歩み寄りを求め慎重な審議が行われたが、意見の隔たりが大きく結論をまとめるまでには至らなかった。

(2) その他

次回の専門部会は、10月16日(月)午後1時30分から開催することとなった。